

わかやま母乳の会 第16回講演会のご案内



コロナ禍で全ての日常生活が変化を余儀なくされ、妊娠・分娩・産後に関しても同様でした。母乳育児の原点である母子の触れ合いも制限されて来ました。

悲しいことですが、母子関係の破綻である児童虐待という言葉聞き、目にする機会が多くなってきました。年間50件ほどの虐待死がみられ、厚労省の17次報告によりますと虐待で死亡した0歳児が49.1%、更に0ヶ月児すなわち新生児は39.3%と報告されています。また、主たる加害者が実母である率は半数以上の52.6%です。このような現状から、産科医療従事者も取り組み可能・取り組むべきことを考える必要があるように思います。

この度、虐待について考える機会を与えていただける講師として、和歌山県立医科大学名誉教授 南紀医療福祉センター院長の柳川敏彦先生にご講演をお願い致しました。

母乳育児支援・母子保健指導に携わってこられた医療関係者ならびに保健師の方々には是非聴いていただきたい内容です。ご参加をお待ちしています。

一産科医療従事者から児童虐待への取り組みは？一

【日 時】 2023年7月30日（日） 午後2時00分～4時30分

【次 第】 午後1:45 会長報告 午後2:00 特別講演

【場 所】 現地およびWEB開催（ハイブリッド形式）

【報 告】 和歌山県下の周産期施設における母乳育児支援の現状
わかやま母乳の会 会長 樋口 隆造

【特別講演】 子ども虐待の理解と対応
～切れ目ない妊産婦・乳幼児への対策～
南紀医療福祉センター院長 柳川 敏彦 先生

【参加費】 **無料**（WEB視聴の方はメールアドレスの登録必要）
「名前・所属・職種・WEB用メール」を下記に送付
して下さい。 登録締切：7月28日
送付先： kawagyne@tb4.so-net.ne.jp

【連絡先】 わかやま母乳の会事務局 かわばた産婦人科内

TEL 073-453-0600 FAX 073-454-0503 E-mail kawagyne@tb4.so-net.ne.jp

主催：わかやま母乳の会 後援：和歌山市